

6 地域交流・文化部会の取組(1)

テーマ1:「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」

【麻生区の現状】

麻生区における高齢人口(65歳以上)

・2010年 31,996人(19.0%)・・・2010年国勢調査結果

【将来推計】(2011年 市総合企画局発表資料)

- ・2020年 44,000人(23.3%)
- ・2030年 53,400人(26.4%)
- ・2035年 56,500人(27.9%) ⇒ 区内人口ピーク 202,700人
- ・2040年 62,400人(31.0%) ⇒ その後も上昇が見込まれている。

【単独世帯割合】

- ・2005年 29.8%
- ・2010年 32.4%
- * 上昇傾向にある

【町内会加入率】

近年、68～70%で推移

【状況】

高齢化の進展

単身世帯の増加

近隣関係の希薄化

など

「無縁社会」の進展

地域でささえあう
絆づくりへ

東日本大震災を契機に、日頃からのささえあいの重要性などが再認識され、絆づくりに向けた動きも始めている。

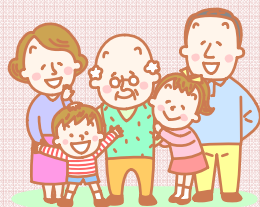
【調査・審議経過】

1 高齢者・障がい者などを取り巻く課題の共有化

【委員から出された主な課題】

- ①引きこもりの高齢者がいる
- ②参加のきっかけが掴めないでいる
- ③生きがいが見つけれない
- ④老後について気軽に話せる仲間がない
- ⑤身近な居場所がない
- ⑥介護者が倒れる。鬱になる
- ⑦交通の便が悪く高齢者の通院・買い物不自由になっている
- ⑧近隣のひとり暮らし高齢者などの把握ができていない。

など 全14項目抽出



2 勉強会の開催

- * 各課題に対する既存の対応施策の把握
- ・区社協、市、その他団体の活動内容調査



3 ヒアリング調査の実施

- ・町内会・自治会 3団体
(第2期区民会議
「あいさつが交わし合える地域づくり事例集」も参照)
- ・ボランティア団体 3団体
- ・区社会福祉協議会



4 課題整理、解決策の検討

- ・既存の取組でカバーできていないことは？
- ・支援・協力することで改善できることは？
- ・区民や活動団体が望んでいることは？



など

ヒアリング調査などを通じて見えてきた課題など

1 町内会・自治会

【主な課題】

- ①地域でのつながりの希薄化
- ②各活動への参加者などの確保が困難
- ③ささえあい、助け合いを必要とする人の情報入手が困難
- ④役員などの高齢化と担い手不足



【主な取組事例】

- ①小地域での防災活動の実施
- ②祭り、どんと焼き、もちつき大会などのイベントを通じた交流の機会の創設
- ③勉強会、講習会などを通じた課題の共有化
- ④町会独自の要支援活動の実施

2 ボランティア団体、麻生区社会福祉協議会

～各団体や社会福祉協議会の実施する「ささえあいの活動」について～

【主な課題やその原因】

- ①利用者が少ない
 - ・利用したい人に情報が届いていないのでは？
 - ・民間事業者の参入による選択肢の拡大
 - ・人の世話になりたくない等の価値観を持つ人が多く利用をためらっているのでは？
- ②供給体制に限度があるため、要望されたニーズ全てに対応することは困難
- ③各団体を中心にした取組となっており、地域を含めた活動になかなか進んでいない。



【主な取組事例】

- ①各活動を通じたPRの実施などで、利用者の拡大を図っている。
- ②「ささえあい事業」を実施している地域では、グッドネイバースと地元民生委員、ささえあい協力員が連携して実施している。但し、人数的には少人数なため、一部の方への負担が大きくなる傾向もある。

解決策の検討～4つに集約～

1 広報活動

- ・ささえあいを必要とする高齢者・障がい者に情報がより届く広報方法の検討
- ・各団体の取組をPRできる機会の検討



【取組内容】

- ・市政だより区版特別号作成に向けた内容の検討
- ・ガイドブック保存版の作成に向けた内容の検討
- ・各団体の取組などをPRする機会の増設 など

2 地域の絆づくり

- ・地域活動等を通じた地域交流の場の検討
- ・小地域見守りを行なう仕組みの検討
- ・町内会、自治会等によるささえあい事業の運用展開



【取組内容】

- ・ふれあいサロンの催事の継続開催
- ・イベント、学習会などの開催
- ・ボランティア活動団体などとの連携の推進
- ・既存自主サークルなどの活動の育成 など

3 担い手の発掘

- ・ボランティア団体などと連携した地域活動の検討
- ・民生委員活動への支援体制づくりの検討
- ・地域人材の発掘方法の検討

【取組内容】

- ・シニア向け講座受講 ⇒ 地域活動への参加につながるような仕組みの検討
(市民館、市民交流館やまゆり、区社協などとの連携)

4 その他

- ・コミュニティバスの検討
- ・「コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク」が機能するための取組



【取組内容】

- ・今後高齢化の進展が進み、区の地形的な点からも移動手段が重要になることから、区内各地の取組を注視していく。
- ・自殺者の増加など社会的な問題にもなっていることから、気軽に相談しやすい体制の検討

具体的解決策についてさらに審議を深め、提言としてまとめていく。